

2021年3月期 第2四半期  
**決算説明会**

2020年12月4日

三櫻工業株式会社

(証券コード：6584 東証一部)

- **新型コロナウイルスの影響と当社グループの取り組み**
- **2021年3月期 第2四半期 連結決算概要**
- **2021年3月期 第2四半期 連結財務状況**
- **2021年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フローの状況**
- **2021年3月期 通期業績予想および年間配当予想**
- **当社グループの中期的な方針と経営課題**

- 新型コロナウイルス第一波：グローバル拠点での経営指標をモニタリングし、コントロールするための新たなガイドラインを策定
- アフターコロナの世界を見据えたコーポレート・トランスフォーメーションの推進
  - 組織のフラット化、風通しの良い組織設計、新たな働き方、安全衛生対策、事業ポートフォリオ見直し、不採算事業のテコ入れをグローバルに展開
- 2021年3月期第2四半期決算：新型コロナウイルス第一波の影響を全地域で織り込んだボトムの実績
- 業績予想修正：自動車業界は回復期、下期は上期の損失分を回復させ水面下から脱却できるかが鍵

# 2021年3月期 第2四半期 連結決算概要



	2020年3月期 第2四半期 実績		2021年3月期 第2四半期 実績				2021年3月期 上期予想 (8/27発表)	
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)	対前年同期		金額 (百万円)	達成率 (%)
					増減額 (百万円)	増減率 (%)		
売上高	72,445	100.0	46,948	100.0	▲25,498	▲35.2	44,700	105.0
営業利益	2,878	4.0	▲2,480	▲5.3	▲5,358	-	▲2,900	-
経常利益	2,459	3.4	▲2,387	▲5.1	▲4,846	-	▲3,000	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,062	2.8	▲1,137	▲2.4	▲3,199	-	▲1,800	-

## ● 2021年3月期 第2四半期業績概要 (対前年同期比)

- ▶ 売上高：新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、日本、北南米、欧州を中心に、▲25,498百万円大幅減収。
- ▶ 営業利益：固定費等を抑制したものの、大幅減収をカバーできず▲2,480百万円の営業損失。
- ▶ 経常利益：営業利益の減益に伴い▲2,387百万円の経常損失。
- ▶ 純利益：投資有価証券売却益（1,247百万円）および受取保険金（345百万円）を計上するも、経常損失をカバーできず、▲1,137百万円の純損失。

## ● 為替レート

損益換算レート (単位：円)	2020年3月期 第2四半期 平均レート	2021年3月期 第2四半期 平均レート	変動率
ドル	110.1	108.3	▲2%
ユーロ	124.3	119.3	▲4%
メキシコペソ	5.8	5.1	▲12%
人民元	16.2	15.4	▲5%
インドルピー	1.6	1.4	▲9%
タイバーツ	3.5	3.4	▲2%
ロシアルーブル	1.7	1.6	▲7%
ブラジルリアル	28.7	22.4	▲22%

# 2021年3月期 第2四半期 連結決算概要



	売上高			営業利益		
	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	対前年同期 増減	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	対前年同期 増減
	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)
日本	28,007	17,956	▲10,051	1,443	▲1,265	▲2,708
北南米	22,380	12,612	▲9,768	568	▲954	▲1,522
欧州	12,533	9,048	▲3,485	▲75	▲232	▲157
中国	9,674	8,422	▲1,252	255	345	+90
アジア	11,329	6,219	▲5,110	943	▲87	▲1,030
連結調整	▲11,478	▲7,310	+4,168	▲256	▲287	▲31
合計	72,445	46,948	▲25,498	2,878	▲2,480	▲5,358

## ● 2021年3月期 第2四半期の地域別業績のトピックス (対前年同期比)

- 日本【減収・営業赤字】 固定費削減に努めるも、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う客先減産の影響により大幅減収、営業赤字。
- 北南米【減収・営業赤字】 固定費削減に努めるも、新型コロナウイルスの影響による生産停止及びブラジル子会社等での為替変動に伴う材料費高騰により地域全体で大幅減収、営業赤字。
- 欧州【減収・営業赤字】 新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受け、一時解雇や短縮勤務等の人件費削減対策及び政府補助金制度の申請等により固定費削減に努めるも、客先大幅減産の影響により減収、営業赤字。
- 中国【減収・増益】 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い一時生産を停止した影響により減収となったものの、第2四半期以降は持ち直し、固定費削減に努めたことにより対前年同期比で増益。
- アジア【減収・営業赤字】 人件費を中心とした固定費削減を進めるも、新型コロナウイルスに伴う客先減産の影響により減収、営業赤字。

# 2021年3月期 第2四半期 連結決算概要



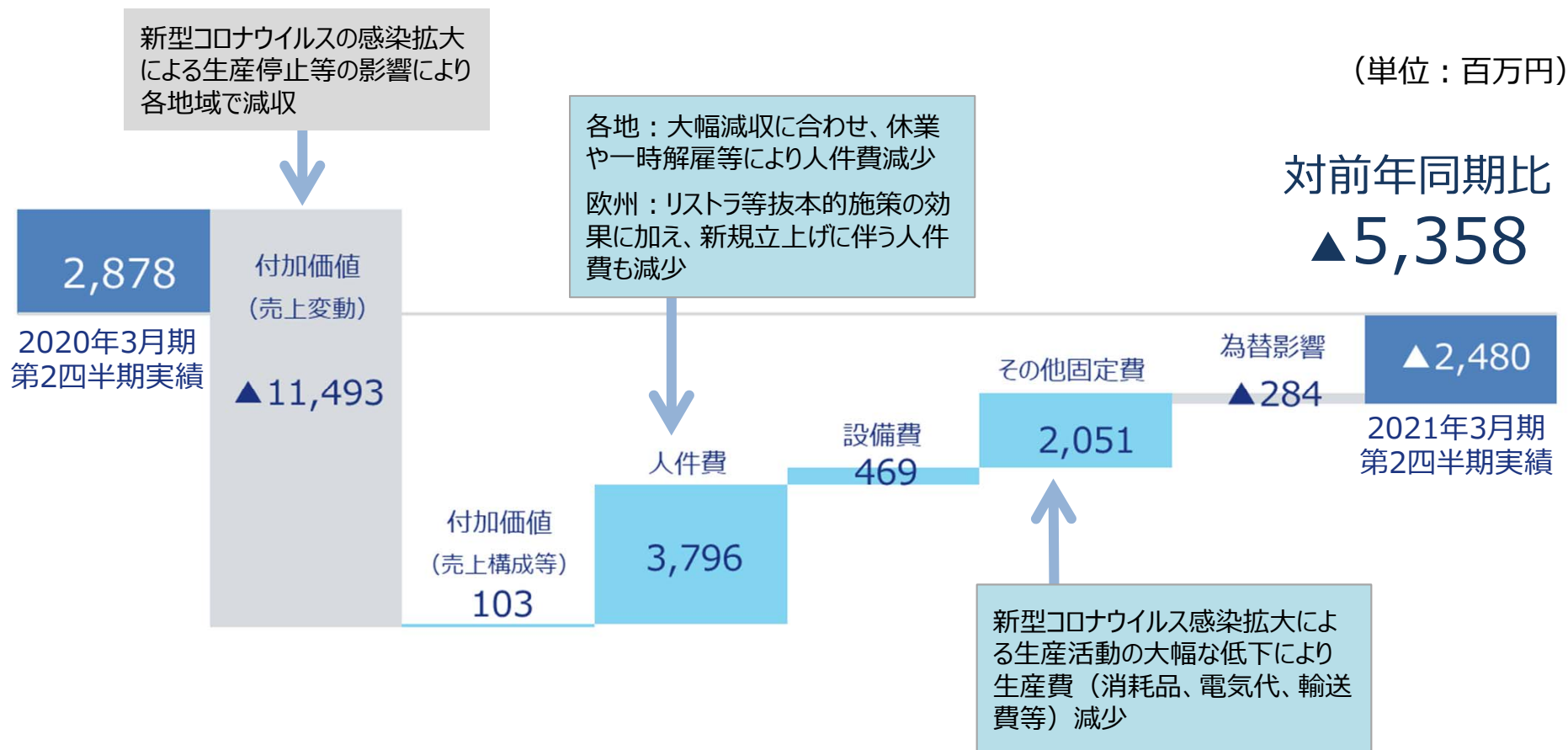
(増減額の符号は対利益符号)

連 結	2020年3月期 第2四半期 実績	2021年3月期 第2四半期 実績		主な増減要因 (金額は百万円)	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	対前年同期		
			増減額 (百万円)		増減率 (%)
営業利益	2,878	▲2,480	▲ 5,358	-	
営業外 損益	営業外収益	612	864	+ 253	助成金収入 +531 その他の減少 ▲222
	営業外費用	1,031	772	+ 259	為替差損の減少 +296
経常利益	2,459	▲2,387	▲ 4,846	-	
特別利益	1,931	1,612	▲ 319	固定資産売却益 ▲1,911 投資有価証券売却益 +1,247 受取保険金 +345	
特別損失	436	45	+ 391	減損損失の減少 +384 (前年同期：日本▲247、欧州▲137)	
税引前四半期純利益	3,954	▲820	▲ 4,774	-	
法人税等	1,507	261	+ 1,246		
非支配株主利益	384	55	+ 329		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,062	▲1,137	▲ 3,199	-	

# 2021年3月期 第2四半期 連結決算概要



新型コロナウイルス感染拡大に伴う生産減に対応し固定費削減に努めたものの、大幅減収をカバーできず、営業赤字に転落。



注：付加価値（売上増）＝連結全体の売上増（為替補正後）×前期付加価値率（為替補正後）

# 2021年3月期 第2四半期 連結財務状況：対前期末



連 結	2020年3月期末		2021年3月期 第2四半期			
	実績 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前期末増減額 (百万円)	主な増減要因 (金額は百万円)
流動資産	53,802	56.9	48,567	56.8	▲ 5,235	総資産： ▲9,066 減少 ① 現預金▲3,263 (新型コロナウイルスの感染拡大に伴う減収影響) ② 受取手形及び売掛金、電子記録債権▲2,251 (新型コロナウイルスの感染拡大に伴う減収影響) ③ 機械装置及び運搬具等の有形固定資産▲2,155 (主に海外通貨、特にMexicoペソの大幅下落による円換算差異) ④ 投資有価証券▲1,368 (上場株式売却影響)
	40,796	43.1	36,965	43.2	▲ 3,832	
	94,598	100.0	85,532	100.0	▲ 9,066	
資産合計						
流動負債	41,042	43.4	38,420	44.9	▲ 2,622	負債総額： ▲4,681 減少 ⑤ 支払手形及び買掛金、電子記録債務▲4,531 (減収に伴う材料等購入減) ⑥ 借入金+805 (短期借入金の増加) ⑦ 未払税金▲1,059 (税金の支払)
	19,584	20.7	17,526	20.5	▲ 2,058	
	60,626	64.1	55,945	65.4	▲ 4,681	
負債合計						
純資産合計	33,972	35.9	29,587	34.6	▲ 4,385	純資産： ▲4,385 減少 ⑧ 利益剰余金▲1,483 ⑨ 為替換算調整▲1,891 ⑩ 非支配株主持分▲1,122
負債純資産合計	94,598	100.0	85,532	100.0	▲ 9,066	

	前期末	当期末
①有利子負債	33,266	33,949
②自己資本	30,295	27,031
①/②	1.10	1.26
自己資本	30,295	27,031
総資産	94,598	85,532
自己資本比率	32.0%	31.6%

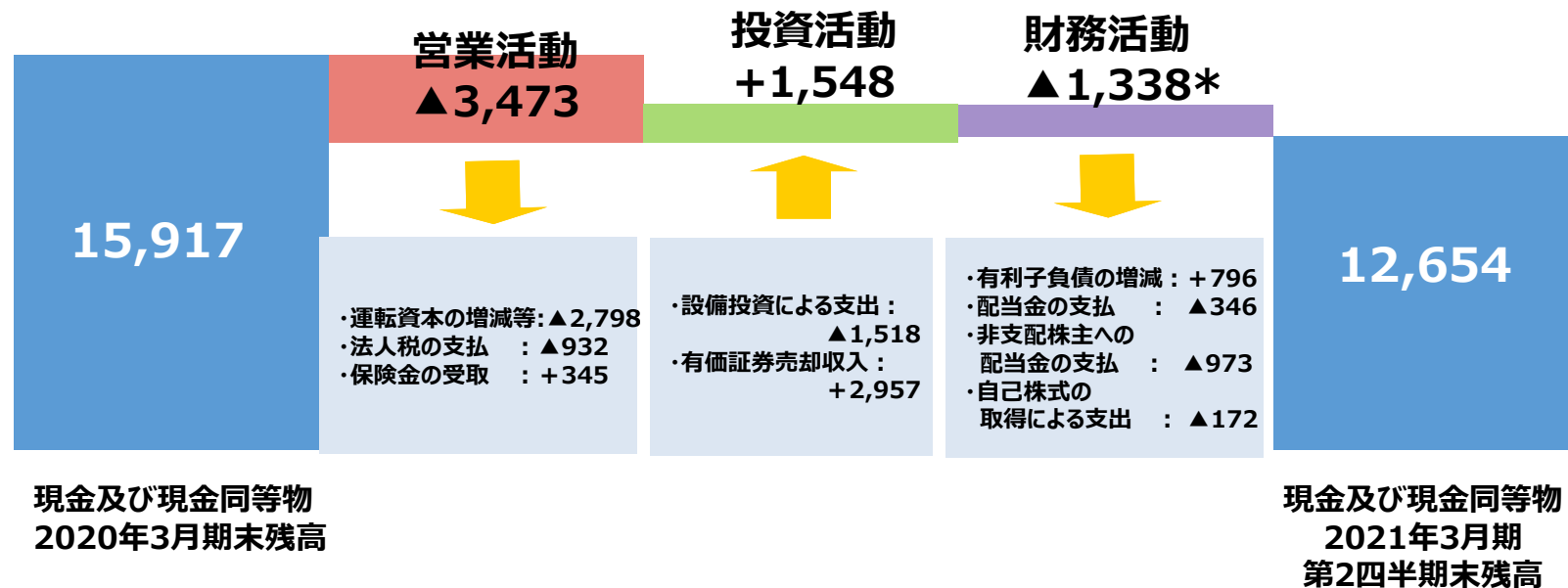


# 2021年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フローの状況



## ● 2021年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



\* 現金及び現金同等物に係る換算差額 (▲644百万円) を財務活動に含めております。

## ● 設備投資/減価償却の状況

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	
		実績	対前年同期
設備投資額	4,447	1,518	▲ 2,928
減価償却費	2,594	2,504	▲ 89

# 2021年3月期 通期業績予想および年間配当予想



連結	2021年3月期 前回予想 (2020年8月27日)	2021年3月期 今回予想 (2020年11月10日)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
	通期見込 (百万円)	通期見込 (百万円)		
売上高	103,000	106,000	+3,000	+2.9%
営業利益 【営業利益率】	▲100 ▲0.1%	700 +0.7%	+800	-
経常利益 【経常利益率】	▲500 ▲0.5%	600 +0.6%	+1,100	-
当期純利益* 【当期純利益率】	100 +0.1%	1,000 +0.9%	+900	+900.0%
一株あたり純利益 (円)	+2.75	+27.50	+24.75	-
配当 (円)	-	7.0	-	-

\*親会社株主に帰属する当期純利益

## 通期業績予想および配当予想を修正した要因

以下の業績動向を踏まえ、通期業績予想及び年間配当予想を修正します。

### ◆通期業績予想の修正

上期業績の上振れ及び2020年7～9月の海外における自動車生産台数の回復等により売上及び各利益の増加が見込まれるため。

### ◆配当予想の修正

当期純利益が前回予想を上回る見込みとなったことや安定的・継続的な配当の観点等を総合的に勘案し、年間配当予想は1株あたり7.0円とする（中間配当3.0円及び期末配当予想4.0円）。

- 手元流動性の向上
  - 今後も起こり得る不確定な売上の変動に備え、キャッシュの保全、手元流動性の向上
- QCDの向上
  - 当社グループの強み：品質要求の高い自動車産業において重要保安部品を開発、生産、販売し続けてきた実績と信頼
  - 製品とサービスのさらなる品質向上に注力し、グローバル市場におけるTier I自動車部品サプライヤーとしての地位を維持
- 新たな成長戦略とリスク分散
  - 当社グループの強み：独立系サプライヤーとして、日本、欧米ほぼすべての主要自動車メーカーと取引
  - CASEに備えゼロ・エミッション・カー対応の製品開発に注力
  - 自動車以外の市場への進出  
(例：スーパーコンピュータ「富岳」への採用)

## 參考資料

創業

1939年

21カ国

87拠点

連結従業員総数

8,839名

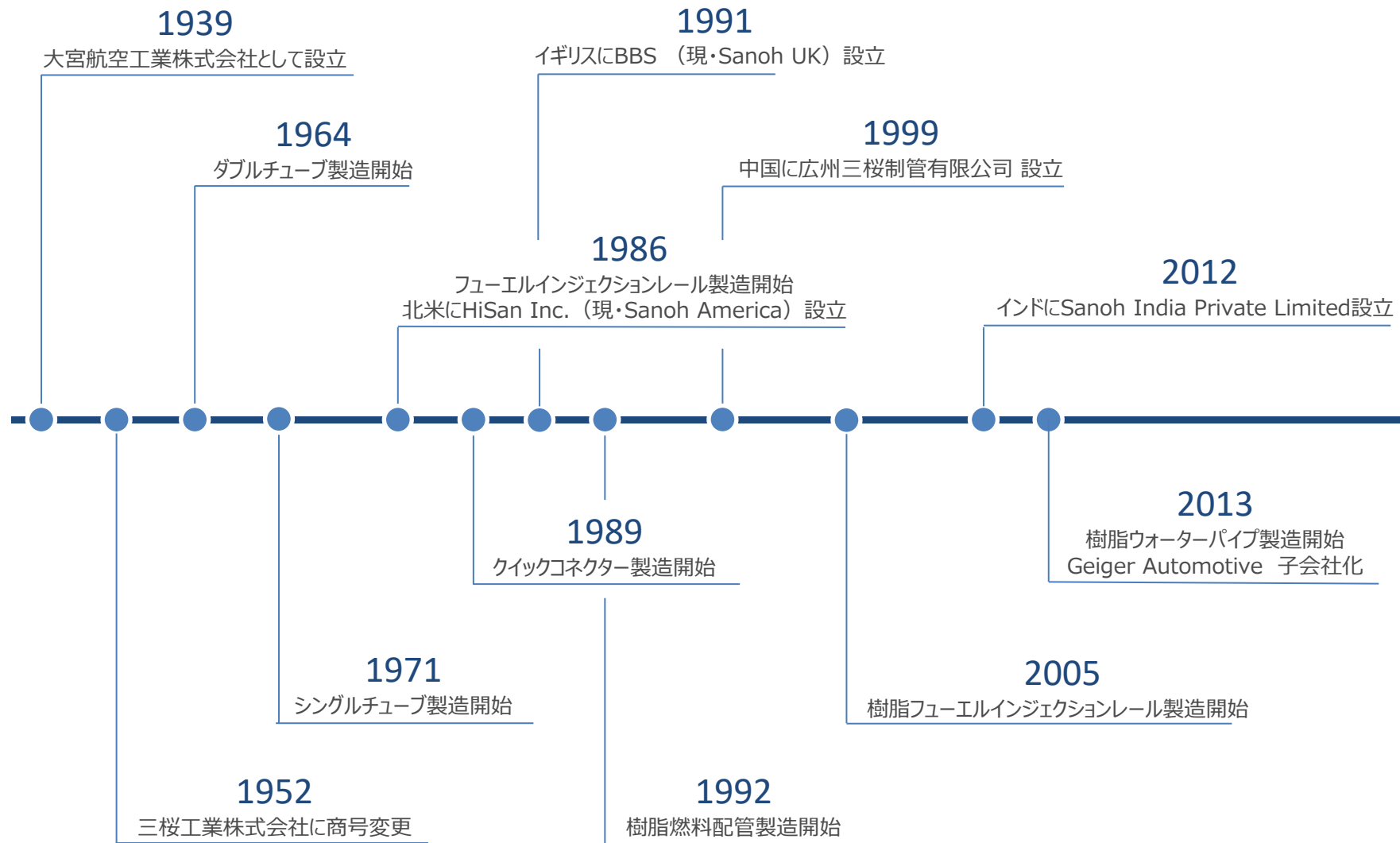


主要製品

40  
種類以上

主要顧客数

220社



# 製品ラインナップ (金属チューブ)



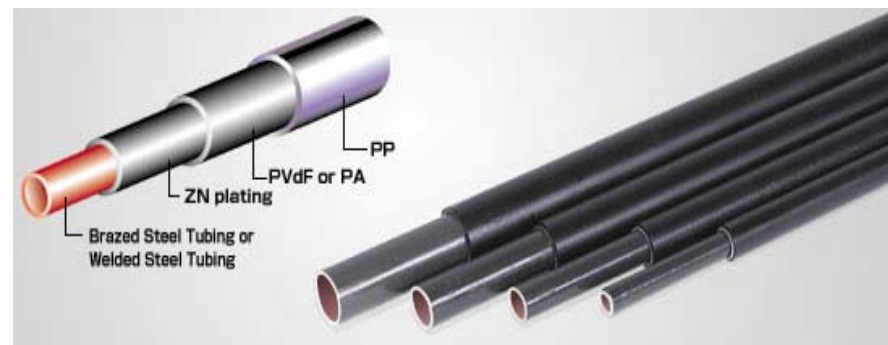
ダブルスチールチューブ



シングルスチールチューブ



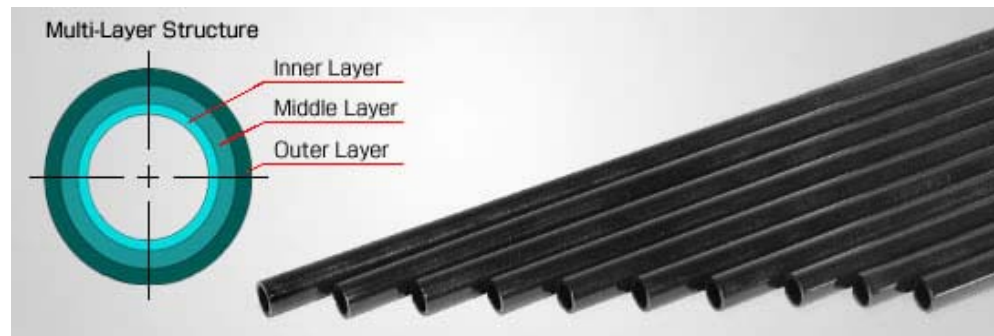
PAコート



PCコート



単層チューブ



多層チューブ



コンポリユートチューブ



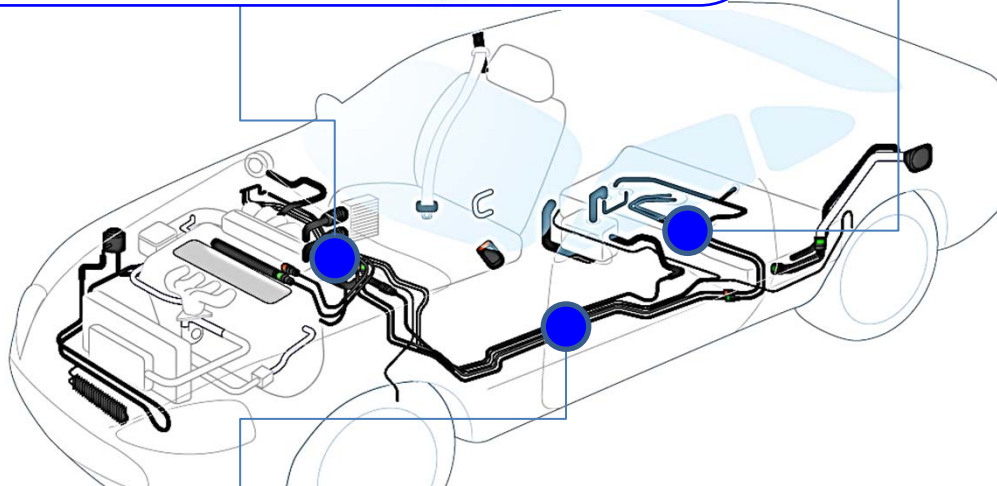
# 製品ラインナップ (車輻配管製品)



ブレーキチューブ



ブレーキバキュームチューブ



集合配管



## 樹脂燃料配管

クイックコネクター



タンクジャンパー



ペーパーリターンチューブ



ORVRチューブ



フィルターネックチューブ



# 製品ラインナップ (パワートレイン)

## フューエルインジェクションレール(FIR)

L型



丸型



樹脂タイプ



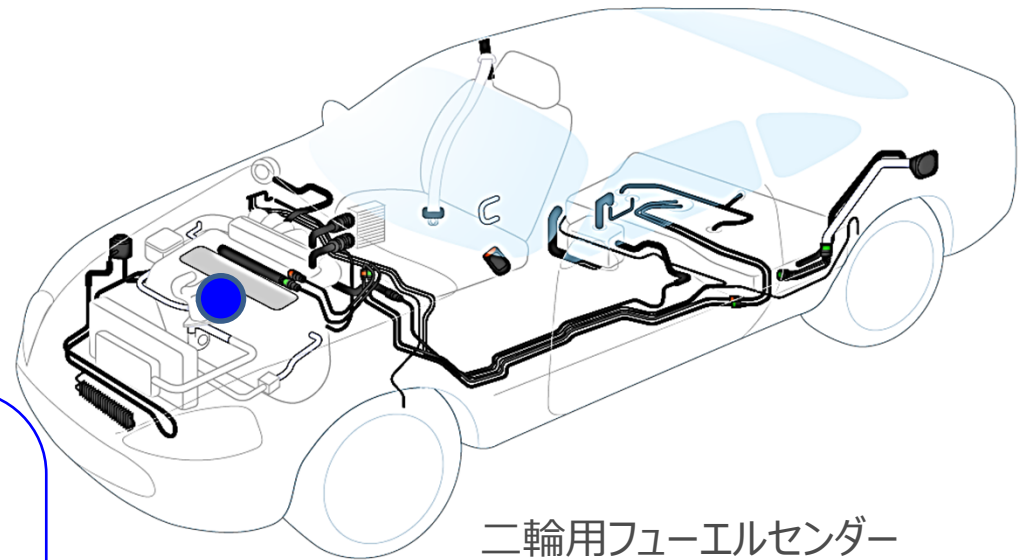
高圧タイプ



## インテークパイプ



## ウォーターパイプ



## 二輪用フューエルセンサー



# 製品ラインナップ（環境・安全製品）



## 環境製品

EGRパイプ



エアシャッターガイド

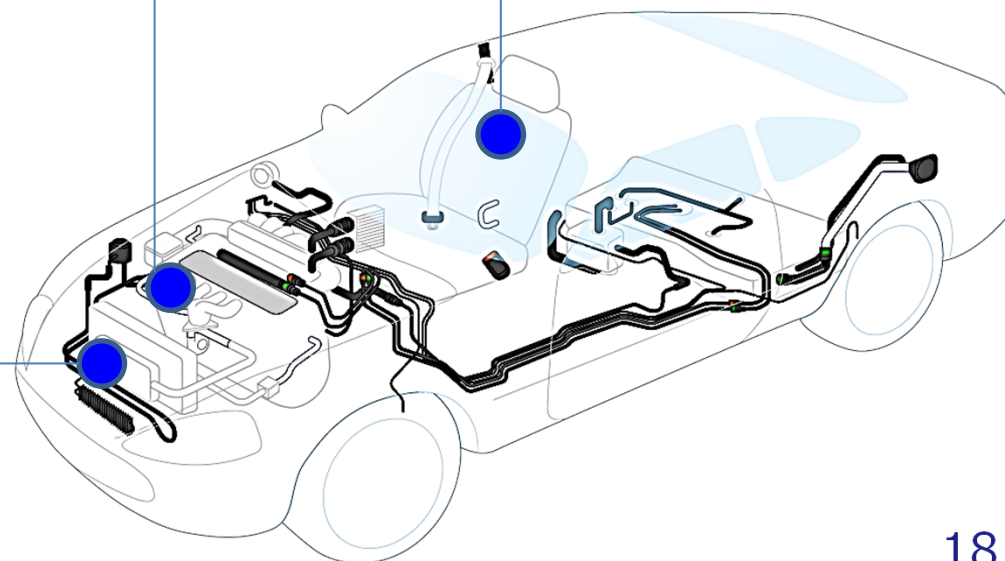


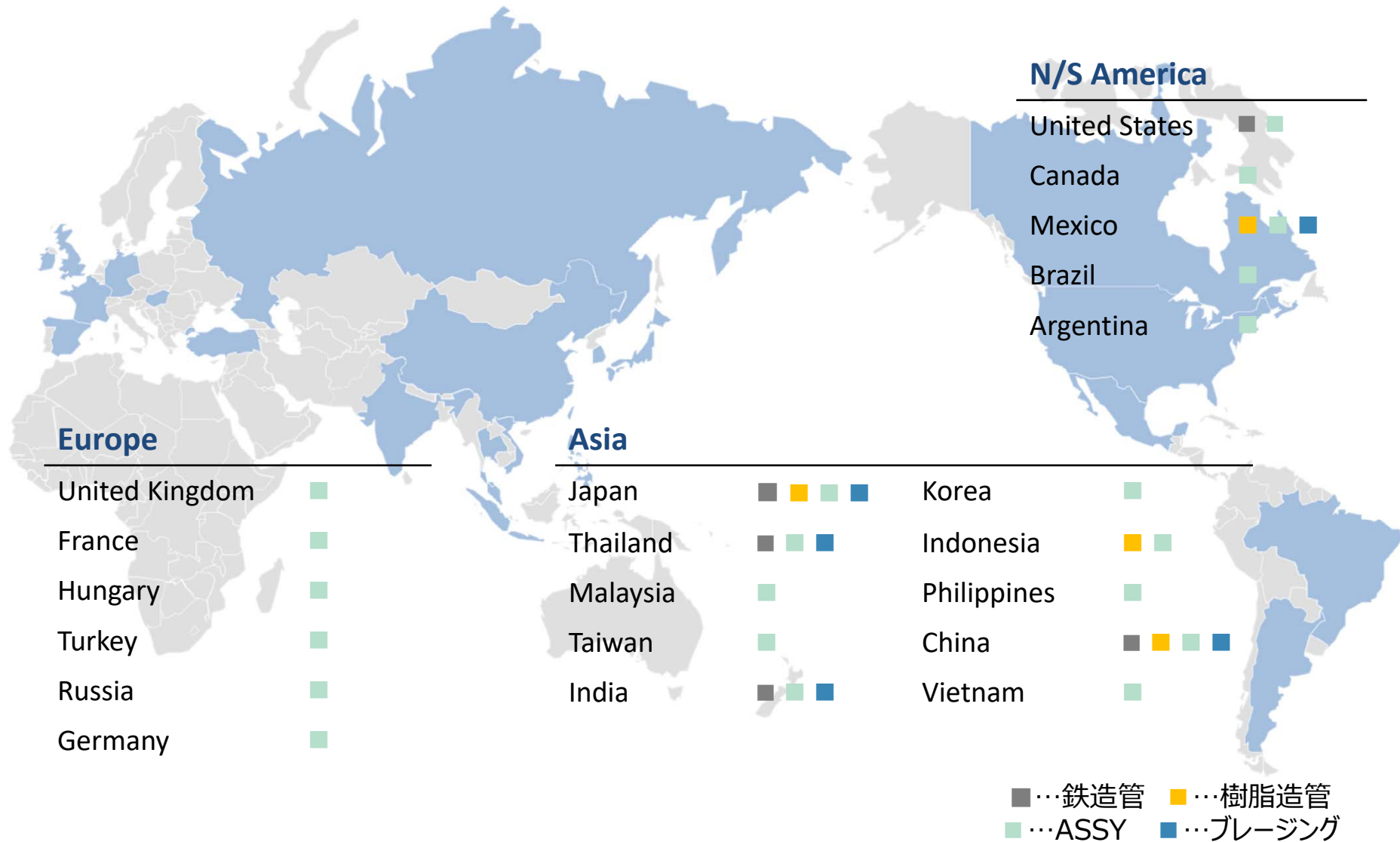
## 安全製品

プリテンショナーパイプ



バックル、ショルダーアジャスター





## 日本



**このプレゼンテーションで述べられている三櫻工業株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。**

**マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。**

**従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。**